令和元年７月29日
国土交通省国土地理院
北海道地方測量部

十勝岳噴火に関する「自然災害伝承碑」を地図で発信

― 北海道内の火山災害に関する「自然災害伝承碑」を地理院地図で初めて公開 ―

７月31日に美瑛町、上富良野町の十勝岳噴火に関する「自然災害伝承碑※」をウェブ地図「地理院地図」で公開します。本取組を通じて、「災害への『備え』」を支援してまいります。

※自然災害伝承碑：過去に起きた津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害の情報を伝える石碑やモニュメント

○　国土地理院は本年６月19日から自然災害伝承碑をウェブ地図「地理院地図」で公開し、これまでに全国で61市区町村182基の自然災害伝承碑を公開しました。

○　７月31日に道内では美瑛町２基及び上富良野町７基の十勝岳噴火に関する自然災害伝承碑の情報を配信します。これは、北海道内の火山災害に関する自然災害伝承碑として地理院地図で初めての公開となります。

○　十勝岳は活火山に指定されており、これまで繰り返し噴火しています。大正15（1926）年、昭和37（1962）年の噴火では、多くの方が犠牲となっています。

○　自然災害伝承碑をきっかけとして、災害について後世に伝えるとともに、過去の教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。また、地図を通して、子供の頃から自分の住んでいる土地の成り立ちや災害特性の学習等、学校における防災・地理教育に寄与します。

○　本取組は市町村と連携して、北海道開発局等の協力を得つつ進めています。今後も市町村に対して自然災害伝承碑の情報提供を呼びかけ、連携して、情報を更新・公開します。

地理院地図における表示イメージ

概要	
碑名	遭難記念碑
災害名	火山噴火・泥流 （1926年5月24日）
災害種別	火山災害
建立年	1927
所在地	北海道空知郡上富良野町西2線北31号
伝承内容	大正15年(1926)5月24日、十勝岳が大爆発した。山腹が崩壊し森林が倒壊、積雪が溶け火山泥流となり富良野川沿いを流れ市街地へと押しよせた。この災害で100余の人命を喪失し巨万の財物を滅尽した。碑の台石は泥流によって流されてきた転石をそのまま使用している。

自然災害伝承碑の詳しい情報につきましては、以下のウェブサイトをご覧ください。
「自然災害伝承碑」の取組
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html

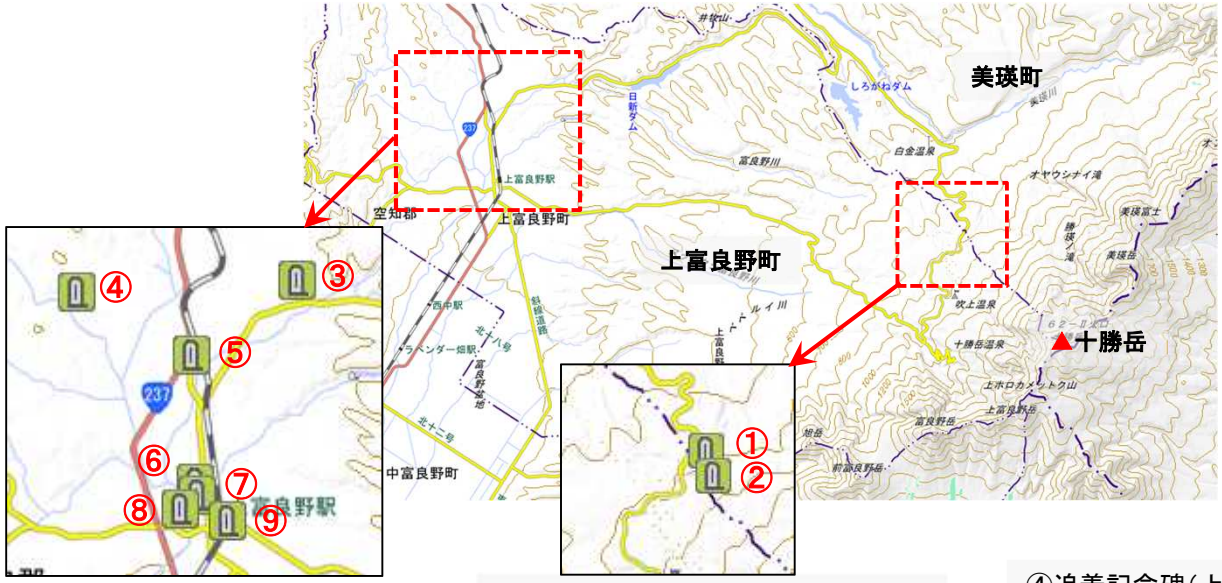
【添付資料】
資料１　今回公開する美瑛町、上富良野町の「自然災害伝承碑」
資料２　「自然災害伝承碑」の地理院地図での表示方法

（問い合わせ先）
〒060-0808　札幌市北区北８条西２丁目１番１　札幌第一合同庁舎１０階
国土交通省国土地理院北海道地方測量部
測量課長　野口　真弓　TEL：011(709)2311（内）4503
部　　長　山後　公二　TEL：011(709)2311（内）4500

今回公開する美瑛町、上富良野町の「自然災害伝承碑」

国土地理院

資料1



③遭難記念碑（上富良野町）

①十勝岳爆発記念（美瑛町）

②大正大爆発丸谷温泉遭難者慰霊碑（美瑛町）

④追善記念碑（上富良野町）

⑤『泥流地帯』三浦綾子文学碑（上富良野町）

⑥十勝岳爆発惨死者碑（上富良野町）

⑦新西国三十三所 観世音菩薩（上富良野町）

⑧遭難記念碑（上富良野町）

⑨十勝岳爆発横死者血縁塔（上富良野町）

「自然災害伝承碑」の地理院地図での表示方法

国土地理院

資料2

地図上の自然災害伝承碑の記号をクリックすると、碑の写真や情報が表示されます。

「情報リスト」の「自然災害伝承碑」をクリック

「すべて」または見たい災害種別を選んでクリック

地理院地図HP
（自然災害伝承碑を表示）

写真や伝承内容を表示

遭難記念碑

概要	
碑名	遭難記念碑
災害名	火山噴火・泥流（1926年5月24日）
災害種別	火山災害
建立年	1927
所在地	北海道空知郡上富良野町西2線北31号
伝承内容	大正15年(1926)5月24日、十勝岳が大爆発した。山腹が崩壊し森林が倒壊、積雪が溶け火山泥流となり富良野川沿いを流れ市街地へと押しよせた。この災害で100余の人命を喪失し巨万の財物を滅尽した。碑の台石は泥流によって流されてきた転石をそのまま使用している。

ID:01460-001